環境経営レポート2023

活動期間：2023.8～2024.7

発 行 日：2024.9.20

エコアクション21
認証番号 0004694

株式会社　木島組

環境経営レポート

環境マネジメントシステム

■会社概要

●社名　株式会社　木　島　組
●代表者　代表取締役　木嶋　三春
●所在地　西宮市生瀬町2-24-21
●創業　大正　9年　3月
●資本金　2，000万円
●売上規模　1040百万円（2023年度実績）
●従業員数　9名
●認証登録の対象活動範囲
対象事業所：
本社（木造平屋建て：床面積108㎡）
西宮市生瀬町2-24-21
第1倉庫（無人・床面積425.6㎡）
西宮市生瀬町1-1373
第2倉庫（無人・床面積82.57㎡）
西宮市生瀬町1-815
駐車場及び資材庫（無人・677.68㎡）
西宮市生瀬町2-24-23

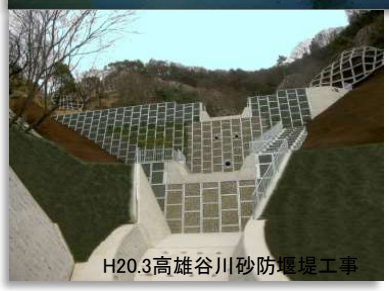
●建設業許可番号
兵庫県知事許可（特-6）第207185号
●対象活動
土木工事及び舗装工事
●主要工種
土木一式工事
舗装工事
●環境保全関係の責任者及び担当者
代表責任者　代表取締役　木嶋　三春
環境管理責任者　常務取締役　木嶋　一二
EA21事務局　澤内　美里
連絡先　℡0797-86-4605　Fax0797-87-9143
●レポート対象期間
2023年8月1日～2024年7月31日
●レポート発行日
2024年9月20日

■ 完成工事

H21.3石楠花谷堰堤補強工事

H27.2二の谷東堰堤工事

H17.3台風23号災害復旧工事


H20.3高雄谷川砂防堰堤工事

H17.3大沢西宮線道路防災工事

H27.7名塩道路遮音壁設置工事

R5.3荒神山西砂防堰堤工事

H13.3公共下水道新設工事

R6.9合流貯留管整備その4工事

環境経営方針

株式会社　木島組　環境経営方針

心豊かなコミュニティーライフの創造

おはよう！　人　人　人の元気が輝く
子供たちの声　恋人たちの夢　金色の朝
喜びの夜明け　老いも若きも　幸せのあいさつ交し合う

いいねえ！　人　人　人のいのちが輝く
真っ青な空　色とりどりの花畑　金色の風
緑の木立ち　人も街も　幸せの歌交し合う

やろうよ！　人　人　人の力が輝く
一人ひとりの思いを集め　一人ひとりの心を燃やし
世界中を笑顔の溢れる思いやりのある
心豊かなそんな街にしたい

当社の経営理念である「心豊かなコミュニティーライフの創造」に沿って、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

環境経営方針

1. 建設工事に伴う環境負荷（二酸化炭素排出量・水資源使用等）の低減に努めます。
2. 廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
3. 関係する環境関連法規及び地元との協定を遵守します。
4. 製品・サービスの環境への配慮の促進に努めます。
5. 環境経営の継続的改善に努めます。
6. 本方針を全社員及び協力会社に周知させ、社外へも公開します。

制定日：　2009年　7月　1日
改定日：　2022年　5月 13日

株式会社　木　島　組
代表取締役　木嶋三春

環境経営レポート

主な環境負荷の実績

	単　位	2021年度	2022年度	2023年度	平　均
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	42,090	48,647	40,144	43,627
廃棄物排出量	kg	94,488	238,606	315,783	216,292
一般廃棄物	kg	162	186	163	170
産業廃棄物	kg	94,326	238,420	315,620	216,122
水の使用量	m^3	249	223	238	237

電力の二酸化炭素排出係数；0.311kg-CO_2/kWh（関西電力㈱　令和5年度）

環境経営目標とその実績

「建設業」という業種は工事量、工事内容により二酸化炭素排出量や廃棄物排出量等の環境経営目標の設定が難しい。今後は分別によるリサイクル化の推進に努める。また目標値と実績に大きな隔たりがあり、今期より基準年を2023年とし、目標値を見直した。

中期目標：2025年までに3％削減

取　組　項　目	環　境　目　標
1. 二酸化炭素排出量削減	・前年度より電力使用量を1%削減する ・前年度よりガソリン、軽油の使用量を1%削減す
2. 廃棄物排出量削減	・前年度よりゴミ排出量を1%削減する
3. 産業廃棄物削減	・分別によるリサイクル率95%を維持する
4. 水の使用量の削減	・前年度より水の使用量を1%削減する
5. 環境への提案	・環境への技術提案を2件以上提案する

環境経営目標

No.	環境目標	2023年度実績	/	達成度	2024年度計画	2025年度計画	2026年度計画
①	〔二酸化炭素排出量削減〕 電力使用量の削減	目　標	3,415	×	6,335kg-CO_2	6,271kg-CO_2	6,207kg-CO_2
		実　績	6,399				
		達成率	53%				
②	〔二酸化炭素排出量削減〕 ガソリン使用量の削減	目　標	27,978	○	27,045kg-CO_2	26,775kg-CO_2	26,504kg-CO_2
		実　績	27,318				
		達成率	102%				
③	〔二酸化炭素排出量削減〕 軽油使用量の削減	目　標	5,329	○	4,054kg-CO_2	4,013kg-CO_2	3,972kg-CO_2
		実　績	4,095				
		達成率	130%				
④	〔二酸化炭素排出量削減〕 灯油使用量の削減	目　標	171	○	84kg-CO_2	83kg-CO_2	82kg-CO_2
		実　績	85				
		達成率	201%				
⑤	〔二酸化炭素排出量削減〕 都市ガス使用量の削減	目　標	2,398	○	1,628kg-CO_2	1,611kg-CO_2	1,595kg-CO_2
		実　績	2,247				
		達成率	107%				
⑥	〔二酸化炭素排出量削減〕 全体	目　標	39,291	×	39146kg-CO_2	38750kg-CO_2	38355kg-CO_2
		実　績	40,144				
		達成率	97.9%				
⑦	〔廃棄物排出量削減〕 ゴミの削減	目　標	178	○	161kg	159kg	158kg
		実　績	163				
		達成率	109%				
⑧	〔産業廃棄物削減〕 分別によるリサイクル化	目　標	95%	○	98%	99%	99%
		実　績	96.6%				
		達成率	102%				
⑨	〔水の使用量の削減〕 節　　水	目　標	221	×	236㎥	234㎥	231㎥
		実　績	238				
		達成率	93%				
⑩	〔環境への提案〕 環境への技術提案	目　標	2	○	2件	2件	2件
		実　績	2				
		達成率	100%				

『○;目標達成、×;目標未達成』　　『2025、2026年度計画は前年度データが得られたのち更新する』

※電力の二酸化炭素排出係数;0.311kg-CO2/kWh　（関西電力㈱　令和5年度）

※目標値は前年度実績値の1%減(増)で設定

※計画値は当該年度実績値の1%減(増)で計画

※産業廃棄物リサイクル率（実績%）＝100×305,010(kg)/315,620＝96.6(%)

※化学物質は使用していないため、環境目標を設定しない

環境経営レポート

主要な環境経営計画の内容と達成状況

	環境目標	環境活動計画	2023年度結果	評価	コメント・次年度取組
①	二酸化炭素排出量の削減 使用電力量の削減	・不使用時の消灯。 ・ｴｱｺﾝ設定温度の厳守。 ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ、ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ運動の推進。	もう少しである	×	原因の追究と今後も引続き節電に努める
②	二酸化炭素排出量の削減 ガソリン使用量の削減	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ。 ・法定速度の厳守。 ・公共交通機関の利用促進。	目標達成できた	○	今期も目標達成に取組む
③	二酸化炭素排出量の削減 軽油使用量の削減	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ。 ・法定速度の厳守。	大幅に達成できた	○	引続き削減に取組む
④	廃棄物排出量削減	・廃棄物の分別。 ・資料、書類の簡素化。 ・両面印刷の徹底。	達成できた	○	引続き削減に取り組みたい
⑤	産業廃棄物の リサイクル率の維持	・廃棄物の分別によるリサイクル化。 ・機会ある毎に分別の徹底。 ・教育訓練、講習会への積極的参加。	95%以上のリサイクル率はクリアしている	○	今後も引続き達成に取り組む
⑥	総排水量の削減	・節水意識の浸透。 ・水流しぱなしの厳禁。	達成できなかった	×	今後も引続き達成に取り組む
⑦	環境への技術提案 （年間2件）	・公募入札における環境技術提案。 ・索道線下伐採木の削減 ・騒音低減対策	2件以上の提案に対し、2件	○	環境への提案は社員に浸透したと思われるが今後も同様に取り組む

■ 伐採木の再利用

■ 照明器具のLED化

■ 環境配慮型高輝度反射シート

■ 産業廃棄物の削減

■ ゴミの分別

■ 節水

環境経営の取組結果の評価と次年度の取組

■ 二酸化炭素排出量削減
本社事務所電力使用量が削減されなかった。今一度、不使用時の消灯などの削減に取り組む。またガソリン、軽油使用量が目標達成できたが業種的に受注産業であり、目標達成は受注が減ったということである。受注量を確保しながら目標達成に取り組む。

■ 廃棄物排出量削減
裏紙使用等により事務所での廃棄物排出量の目標達成に成功した。引き続き排出量削減に取り組む。

■ 産業廃棄物リサイクル率の維持
建設廃棄物は再資源化施設で処分を行い、昨年のリサイクル率は99.8%であったが今期は96.6%で昨年度よりも微妙に上回った。しかし95%は維持している。

■ 総排水量削減
目標値を達成できた。次年度以降も節水に努める。

■ 環境への技術提案
発注者側の入札参加技術提案要件が「施工技術」から「環境への配慮」に変化しつつある。自然保護の観点から六甲山の動植物に関する資料を掲示し、ハイカーに自然の大切さを訴えてる方策を今後も提案する。

2024.9.20　代表取締役　木嶋三春

環境関連法令への違反、訴訟等の有無

（1）当社に適用される主な環境関連法規等の遵守状況
下記の通り、環境関連法規及び条例を事業所、作業所とも遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

法律名	該当施設	該当要求事項	遵守
廃棄物処理法	建設廃棄物	マニュフェスト管理	○
建設リサイクル法	特定建設資材	計画書作成・届出・報告書	○
大気汚染防止法	土砂等仮置場	届出書	○
自動車排出ガス特措法	車両	窒素酸化物排出基準適合・自動車検査証	○
騒音規制法	特定建設作業	届出書・85デシベル以下	○
振動規制法	特定建設作業	届出書・75デシベル以下	○
水質汚濁防止法	公共用水域排水施設	届出書	○
河川法	河川への排水	届出書（1日50m3以上の汚水を河川に排出）	○
自然環境保全法	現場事務所等	行為(風致地区等)許可の届出書	○

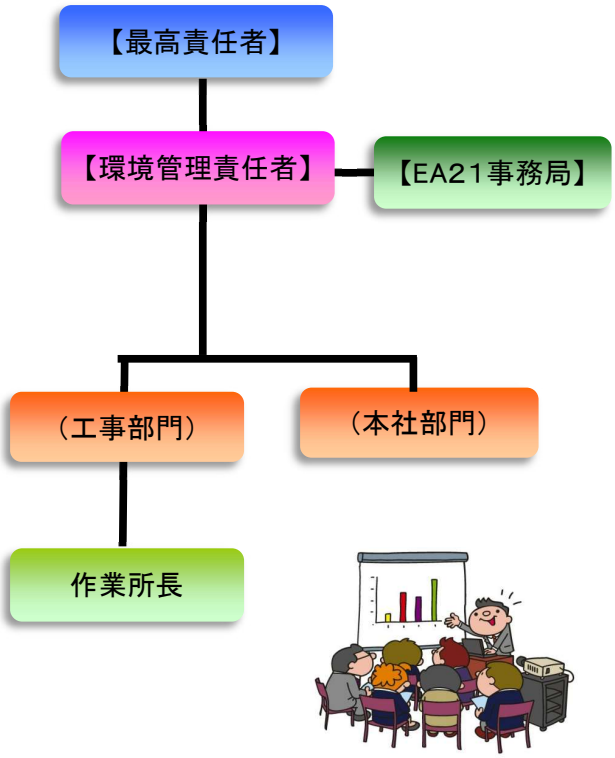
遵守評価日：2024年9月20日

（2）環境関連訴訟等の有無
環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

環境経営レポート

環境マネジメントシステム

エコアクション21推進組織図



エコアクション21役割・責任・権限

代表者（社長）	・代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ・環境経営方針を策定し、従業員に周知 ・資源（人・もの・金）の用意 ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境管理責任者等の任命
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績の向上 ・環境経営レポートの作成 ・上記の結果を社長に報告 ・EA21文書類の承認 ・EMS全般の舵取りを行い、実行の推進
事務局	・EMSを構築し、文書化し、実行の推進 ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・環境への取組の自己チェックの実施 ・管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案
部門長及び全従業員	・環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握 ・自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知 ・自部門に関連する法規制等を順守 ・自部門の教育・訓練を実施 ・社内外の環境情報の収集と伝達 ・緊急事態への準備及び対応の訓練実施
作業所長	・作業所におけるEA21実行責任者を兼務 ・作業所の目標、活動計画の達成と実績の把握

全体評価と見直しの結果

項目	変更	環境管理責任者の対応	指示事項等	
			指示事項	フォローアップ
1. 環境経営方針	なし	継続実施	継続実施	
2. 環境経営目標	なし	環境目標について1か年を掛け精査する	目標未達成項目もあるが継続実施を行い、目標達成に努力を惜しまない	R6.10.5工程会議において社員に周知
3. 実施計画	なし	継続実施	継続実施	
4. 仕組み	なし	継続実施（データの見える化については、社内システムを利用し、活動状況を社員に提供を行う）	達成状況等について社員周知徹底	R6.10.5工程会議において社員に周知
5. 実施体制	なし	継続実施	継続実施	
6. 全体評価	・環境活動は順調に成果を挙げていると評価する ・「環境経営方針」及び「EMS（環境経営システム）」については、有効に機能しているので継続して運用する ・達成状況についてデータを開示するなど社員周知を図ること 2024.9.20　代表取締役　木　嶋　三　春			

環境経営新規事業

FFT-S工法（Field Fabricated Tube-Steam Method）

■ 工法の概要

FFT-S工法は、損傷や腐食した既設管渠内部にFRPパイプを構築する非開削更生工法である。更生材料（樹脂含浸ガラスライナー）は、耐酸ガラス繊維等をサンドイッチ構造に貼り合わせた材料に、熱硬化性の樹脂を含浸させたものである。

■ 適用範囲

管　　径 ： 呼び径　φ150～φ800㎜
管　　種 ： 鉄筋コンクリート管、陶管、鋼管、鋳鉄管、塩ビ管等
施 工 延 ： 最大　100m

■ 更生管の特徴

FFT-S工法材料は、塩ビ管より強靭な材料であり耐久性（耐薬品性、耐ストレインコロージョン性、耐摩擦性）、長期耐荷性能を有する。また、地盤変位に伴う既設管への追従性も有する。更生後の管渠は、0.1MPaの内・外水圧に耐えることができる。

■ 施工上の特徴

FFT-S工法は、非開削工法で施工車とマンホールとの間に距離があっても施工が可能である。峡隘道路、高低差のある場所での施工も可能で、小さな占用作業帯で施工が可能である。臭気が少なく、周辺環境に配慮した材料である。

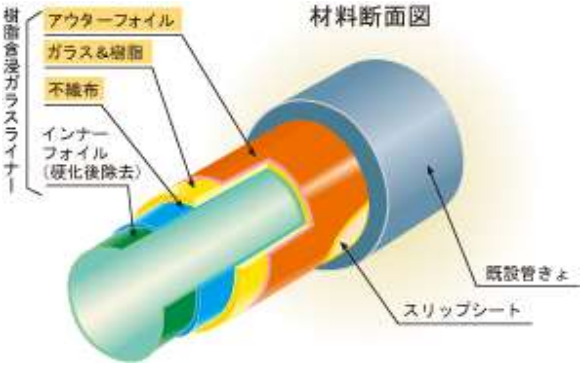
管きょリニューアル

施工前

施工後

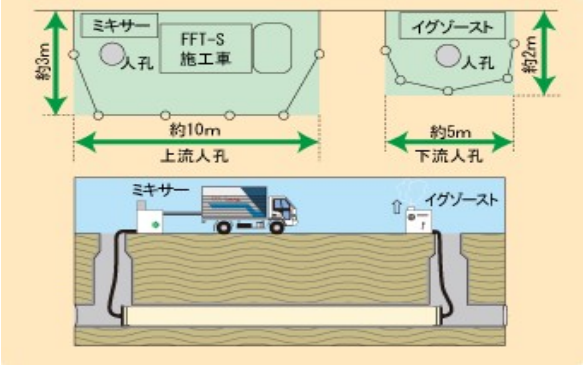
自立管・二層構造管の材料選択が可能

材料は自立管仕様と二層構造管仕様の2種類（G、Lタイプ）があり、目的に応じて選択できます。



少ない占有スペース

ライニング工程における施工設備、車両が少なく、わずかな道路占用作業帯で施工できます。



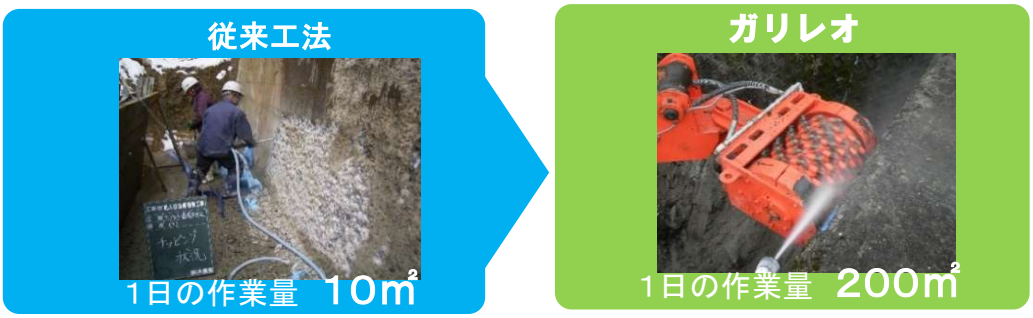
チッピングマシーン『ガリレオ』

■ 工法の概要

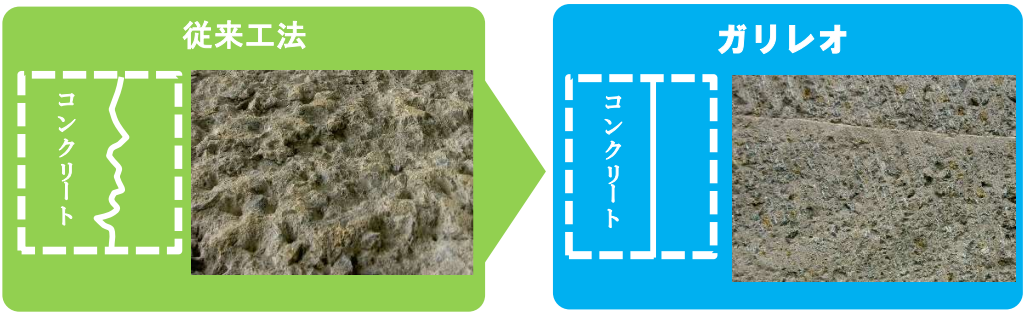
チッピングマシーン「ガリレオ」は、コンクリート構造物の不良部を一定の深さで効率よく取り除くチッピング専用機械でパワーショベルに取り付け、回転ドラムにビットを配置し、そのヘッドを左右に屈折させることによりあらゆる面のチッピングができます。

■ 工法のメリット

◎ *従来工法と比較して工期の短縮が期待できる*



◎ *従来工法と比べ構造物の健全な骨材を浮かすことなく均一な深さの仕上り*



◎ *足場の設置が不要で転落事故なし、振動による白蝋病の心配もなし*